제115호 1909. 5. 22.

（明治四十年十月三日第三種郵便物認可）（日曜及祭日の翌日休刊） 明治四十二年五月二十二日（土曜日） 第百十五號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●我邦商業の缺點（上）

男爵 目賀田種太郎氏談

明治十二年余が米國に在りし時、偶々一陶器業者と知己となりたるが彼曰く、余は日本より陶器を輸入せんと欲するが事業に着手するの前、日本に渡航して其實況を視察せんとす君請ふ、余に紹介狀を書けと、余之を快諾して其便宜を圖れり、三四月の後彼再び來りて曰く、余は日本に渡航し尾張に至り當業者に數千の陶器を製造せんことを注文せしに、斯る多額の注文は數年を要すべしと謂はれたるを以て、他の陶器の産地をも觀察の狀況ならんと推察して早々歸國せりと、顏色甚だしく平ならざりき、然るに今日は某當業者が大に之を憤慨して世界的に其陶器の供給を爲さんと企圖し千難萬苦を排して、從來は神戸より之を輸出せしが、今日は四日市より直接米國に向つて輸出するに至り、名古屋方面より米國に輸出する額は年々五萬噸の多きに上れり、我が商工業は總て斯くの如く、長足の進歩を爲したるか、將又明治十二年頃の狀態に甘んずるもの無きか、近頃濠洲人が北海道に遊び鰊が肥料に製造せらるゝを見て喫驚したるが如き、朝鮮元山附近にては鰤が十貫目一圓五十錢の相場なるが如き事例を以て見れば、我が邦商工業の狀態は尚未だ明治十二年頃の舊態に在らざる無きかを怪まざるを得す

第一、我邦人は商業の準備を缺けり

今日の商業は世界的なり、而して世界的商業を經營するには先づ其國情に通ずるを要するを以て其國語を研究するを最も必要なり、其國語を解せずして商業に從事せんとするは恰も武器なくして戰爭に從事せんとするに同じきものなり、獨乙人の如きは先づ第一に其取引先の言語を研究す、例へば朝鮮に來る獨乙人は先づ朝鮮語を習得して而して後其需要の調査を爲すを常とす、隨ひて獨乙人の勢力は大なるものにして、佛領印度地方にありては二三人の佛人に對し二三十人の獨乙人あり、浦鹽に於ては我が三越呉服店の如き店舗を有するもの三四ありといふ、其他獨乙人は總ての方面に勢力を扶殖しつゝあり、即ち我が邦人は言語を研究して深く内地に侵入せざるを以て、其地方の需要を察する事能はずと雖も獨乙人は深く内地に入りて漁利を收め、最終の勝利を占め居れるが如し（東京經濟雜誌）

文苑

●心配したので腹が空つた

紅霞

僕は今朝苗床から鉢に朝貌を移植した、蒔き方が遅れたのと、手當が行き届かなかつた爲めに出芽が遅く從つて未だ漸く其の貝殻の様な葉を分析した許りで傍に居た人なぞは倘早いと遮ぎつた、乾度枯れると不都合な豫言者めいた事を云つた人もあつたが、委細圖はず移し植ゑた、其の名が振つて居る、黒龍、丹頂の鶴、千松島、橋立、誰が袖、君が代、唐錦、されど石等であつた、上鹽梅根が下りて呉れないと面目ないと心配した爲か腹が空いた。

俳句

●自選雜句●

怨堂

敗陣を探れば螢飛で來る

螢一つ庭から家根へ飛び去つ

七草や紫苑伸び／＼て秋近き

帝星人の噂や秋近き

ほろ／＼と千鳥の啼や秋近き

秋を待つて難を勞はる隱者哉

●西郷隆盛●

燭の下に名刀を清めて 今や志士の秋近し

新刊紹介

●東京經濟雜誌● 社説六種寄書七種依例有益なる記事のみなり就中大隈伯の「我邦刻下の經濟事情に就て」目賀田男の「我邦商業の缺點」等は必讀すべき文字なり（一四九〇號一部十二錢東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●貿易● 本號の重要記事は久水三郎氏の「最近亞刺斯加事情」荒川新十郎氏の「テキサス視察談」等なり（十卷五號一部十錢東京々橋區宗十郎町日本貿易協會）

●現代● 新たに生れたる雜誌なり、發刊の辭なきを以て趣旨のある所を知るに由なきも揭載せる文字に依りて其の一斑を知るを得、竹越與三郎、林毅陸大町桂月、大隈重信、島田三郎、添田壽一郎等の論文は何れも一讀再誦の値ありといふべし（一號一部十六錢東京府下荏原郡目黒村現代社）

●少女の友● 口繪は依例能く少女の趣味に投じ居れり「二年間一つ家に居りながら一度も欠點を見たことのない感心な少女」「芳子の虫齒」等はなか／＼に面白し（六號一部十錢東京々橋區宗十郎町實業の日本社）

佐倉宗吾

（八十六） 眞龍齋貞水講演



燗鍋から注いでくれました濁醪に、卵を一つ破込んで一口 宗「アー美味へ 美「美味ければサア希ぞ、深山食上つて下さいまし 宗「イヤ、もう途中が、雪で甚かつたに依つて身体も凍ねて仕舞つたが、今焚火と云ひ、此濁醪にて、少しく温暖まりましたが何しろ今宵は、餘程寒い晩だ 美「左様でございませう、餘程御寒うございます 宗「イヤ時にれ美禰や、御母様は何のやうであらうか御身体が御惡かつたが、今以て御惡くて居らつしやるか、もう毎日のやうに心配いたして居つたが 美「ハイ、どうも老病でございますから、快いが良いとも付かず、不快いが惡いとも付かぬのでございます 宗「何分年御齢が御年齢で居らつしやるに依つて……左様か 美「それでも此程は少し快いと仰つしやいます、今日あたりは大分快いと仰つしやいました 宗「ア然うか、それやア今日あたりの此寒さに快いと仰つしやつて下さるのは、誠に有難い事ぢや 美「それに御母さんも、嘸そ貴下様の事を御心配遊ばして、片時も御忘れ遊ばしませぬでございます、又子供が、御婆ア様、御父様は何日御歸りになります、何日御歸りになりますと云つて、御尋ね申しますから、其度毎に噂、御母さんも御心配をなさるやうな譯でございますから、夫から子供に能く言ひ聞かせましたら、餘まり此節は、御婆アさんに御尋ね申す事もございませぬので、是迄と違ひ、少しは御心配も薄らいだかと思ふやうでございます 宗「それは／＼、誠に以て母様にも御心配を掛け、申し譯がない、そこでズッと立ちまして母の病室へ參り 宗「御母様、宗五郎が唯今戻りましてございます 母「オウ宗吾か、宜う戻つて御來でございました、れ前が御戻りなされて、安心を致しました 宗「ハイ、もう御安心下し置かまれすやう、併し長らく家を空けましたゆゑ、定めし御心配、不孝の罪は御赦しを 母「イヤ／＼、れ前は多くの人のため、江戸表へ御出願をなさたのだから不孝などと云ふ事は更にないか、始終この母は、れ前の身の上を案じ居りました、と云ふのは何しろ人と違つて身体が弱いから 宗「ハア有難うございます 母「實は毎日苦勞いたしましたが、それでマア、無事で戻つて御來で、妾も安心を致しました 宗「母様、まづ久々の事でございますから、緩寛御話しも致し度ございますが、夜分の事ゆゑ、希ぞ御就眠あそばせ 母「ア、然うかへ左様なれば病中の事ゆゑ、御免なさい」と飲んで御寝に横になる、此時宗吾は、再び其座へ參りますると長男の宗平が 長「サア、御酌を致しませう」と盃へ其濁醪を注いでくれる 宗「オウ／＼、宜う温順くして居つた」次男の喜六は 次「御父さんと、膝の邊へ縋る、長男の宗平は、父の顔を覗き上げては、御酌を致しませうと、母の手を助ける、此時に二人の子供の顔を見まして宗吾は 宗「ア、憫然なものぢや」腹の中に思いました、れ美禰は良人が最早、歸つて自家に居る事と思へば、何かさの用をしてゐる、宗吾は胸の中で「俺が御處刑に成つたと聞いたら母様と云ひ、妻と云ひ、子供と云ひ、嘸や嘆くであらうさ、思へば耐らず瞼に止め兼ねて、ハラ／＼と涙を落した、すると早くも八歳になる喜六が之を見て 次「兄イさん、御父さんは眼から水を出して居らつしやる……御父さんが泣いてござらつしやる」宗平は御父さんの顔を見上げて 長「御父さん、貴父は何事を御泣きなさるか、今日御歸りの上からは、御嘆きなさる事はございますまい」宗吾は之を聞き 宗「イヤれ美禰や 美「ハイ 宗「ア、親はなくとも子は育つと云ふ喩への通り、長い間留守にして居つても、れ前の育方が届くゆゑ、此通り子供が柔順くして、私は誠に喜んで居ります、



（二）（月曜日及祭日の翌日休刊） 明治四十二年五月廿二日 京城新報 （土曜日） 第百十五號

京城新報

秕政改善と新事業

伊藤公は自己の施設したる政策の誤れることを自白し曩に近者及大隈伯にも自白したりと云ふ、其言ふ所を聞くに次官制度の非は[illegible]早く自身に認め居るも[illegible]制度の缺點より[illegible]經過したるも各次官には其意を含めて訓示し設けり韓國政府に日本人を傭聘せしめたるは在來の秕政を改善するにありて今の如く新事業を競爭せしめんが爲に非ず半島文化の洽からざる所に[illegible]注入するは害多く[illegible]税の如き唯單に財[illegible]本を辨へざるもの[illegible]覺の遅かりしを憫[illegible]曉は該任者に嘱し[illegible]るの擧あるを信ず[illegible]晩遂行せらるべけ[illegible]政の改善と新事業[illegible]ざるものあり、余輩は此點に就て一言なかる可らず。

[illegible]せしめたるは秕政[illegible]業を競爭せしむる[illegible]の改善とは何事を[illegible]輩の考を以てすれば秕政の改善とは積極的に善政を行ふ事なりと信ず、善政を施行することは乃ち秕政の改善たる也、秕政の改善とは唯舊制度の補修や宮中の肅清丈けにて餘は拱手傍觀するの意味にあらず、唯是に止まらば幾千の日本人を韓國政府に傭聘せしむるに及ばず而して公は文化の洽からざる半島に最新の文明を注入するは害ありて益なしと云ふ、然り實際に於て公の言へるが如し、然れども新事業を競爭せしむるも、最新の文明を注入せんとすることも皆公の爲さしめたる所のもの也。秕政の改善と云ひ新事業と云ひ其他百般の施設は公の承諾なくして一も施行したるものなからむ、要するに統監政治が今日の失敗は公が三年有半に亘りて播種したるものを收穫したるのみ、決して何等の不可思議もなし、余輩は常に公に向て其誤謬に就て苦言を呈し居れり、公や漸く今にして其非を悟る豈亦遲からずや。

然るに公は今や辭任せんとするに際し、自ら播種したる失敗に向て、新事業の競爭は非也、最新の文明を注入するは害なり杯と聲言するは無責任も亦極まれり、公が三年有半の歳月と多額の財と勞力とを費したるものを覆沒せる誤謬を自覺せるはよしとも、自己に力量と根氣なき爲に無責任にも其非を蔽はんとするは余りに卑怯也。余輩の見を以てすれば統監更迭して秕政の改善を行ふに於ては、濫りに皮相の新文明を注入するは非なれども實質ある文明は最も必要にして韓人を益すること多し。

余輩は如何にしても伊藤公の言說が餘りに無責任なるに呆れざるを得ず從て之に贊す可らざる理由を發見せざる也。

東京電報

▲宮地少佐轉任 韓國駐剳軍參謀宮地少佐は陸軍大學兵術教官に任ぜられたり（二十日發）

▲義勇艦隊活動 露國義勇艦隊は本年より新造船五隻を以て浦潮、敦賀上海間の航路を回航せしめ大活動を爲す計畫なり（以上二十一日發）

外報一束

●殖民政策研究 淸國新任郵傳部尙書徐世昌は蒙古墾務督辦朱啓鈐を露國東海岸日本北海道に派遣して殖民政策を研究せしめんことを上奏し裁可せられたり

●革命黨の動靜 近來淸國革命黨は兩廣地方に集まり米國人を介して火藥其他の買入れに從事せる旨駐米淸國公使より密電あり外務部にては張總督に注意する所ありし由

●觀光團出發期 露國より日本に到る觀光團体は中學生其の大部分を占むるを以て經費節減の爲種々計畫する所あり出發は露曆六月一日渡航の筈

●罷業者の暴行 巴里郵便局の同盟罷業者及び其の味方等は亂暴なる破壞的行動を擅にし電信及び電話線等の切斷さるゝもの數百箇に上り一時不用に歸したりと

●虐殺調査 土國議會の委員會はアルメニヤ人虐殺を調査する爲小亞細亞アダナに向はんとすチリシアに起れる暴動は婦女小兒に對する極惡非道の方法を以て特色とせる狀ありと

●難隧道の開通 淸國九龍廣東鐵道のベーコンヒル隧道は豫定に先つ數月十七日午後五時半を以て開通せり同隧道は長さ七千二百五十呎にして同鐵道中最難工事と稱せられ九龍山を通じて鐵道を布設するため起工したるものなりと

雜報

●韓皇后水原行 韓國皇后は來る六月一日水原なる勸業模範場を觀覽さるゝ筈にて宮內府にては目下準備中なりと云ふ

●トロール漁業 トロール漁業は漁業中最も進步せるものにして海中に投じたる蒸汽船にて曳引することなるが日本に於ては小漁業者保護の目的を以て之れを禁止したるに依り近來は其の反動として同漁業の韓國沿岸に出漁するもの多く依て農商工部水產局に於ては絶對に之れを禁止するに非ざるも同漁業者に對する制限的取扱方に就き目下調査中なりといふ

●韓太子東北巡遊 [illegible]順路は汽車にて先づ水戶市に抵り夫より東海[illegible]旭川に向はせられ第七師團兵營夕張炭山等[illegible]

●派遣隊の編成 今回新に編成する臨時韓國派遣隊の組織は第一聯隊は東京（第一）名古屋（第三）豐橋（第十五）又第二聯隊は大阪（第四）金澤（第九）久留米（第十八）の各師團より各一箇大隊を拔きて編成すべきも下士卒は聯隊內に於て志願者を募り選擇指定し混成中隊より成る平時編成を成す筈なれば第四師團にては已に大阪步兵第八、第三十七、篠山第七十、和歌山第六十一聯隊に對して此の計畫に基き各一中隊を編成すべしとの命令を發したるが中隊長以下中少尉も同聯隊附の者を採ると云ふ事なり因に三輪聯隊長は近日歸江より來阪聯隊編成完了次第渡韓の豫定にて付運輸通信部は目下其の配船表調製中なり尤も本省は其の編成派遣を急ぎつゝあれば前記新任大隊長小山少佐も十八日信太山演習地より歸阪し步兵第八聯隊は十九日午後五時より同將校集會所に氏の送別會を開きたり

●財產整理の進捗 臨時國有財產整理局に於て整理中の國有財產に關する事務は其後着々進捗し來る八月迄には大抵結了を告ぐるを以て其性質に從ひ夫々各部に引渡し所屬を決定する筈なるが同事務終了後は組織を變更して土地整理局と改稱し全國の土地丈量整理に着手する由なり

●學部要錄の配布 學部に於ては昨年七月公立普通學校教監會議を開き其后之に關する要錄を編纂したるが內容は大臣次官の訓示其他の訓示事項統監の內訓及訓示其他重要なる學事に關する事項を一括したるものにして過日之を印刷に附し出來したるを以て近日關係者に配布すべしと

●官房主理の交迭 內部書記官兼警視廳警視にして統監官房主理たる靑木戒三氏は兼官を免ぜられ龍山警察署長警視上村豐助氏其後任に視せらるべく內決したる由尙靑木警視は內部に復歸するも目下書記官の椅子に空虛なきを以て他へ轉任するに至るべしと云ふ

●平北道の金銀鑛 新義州櫻町久木田伊之助氏は平安北道碧潼郡會面に於て金銀鑛を發見し試驗的に其鑛石若干を內地專門家に鑑定せしめしに鑛質良好にして又彼の雲山金鑛よりも多量に採取し得る見込ありとて事業經營の爲め兒玉某と共同にて農商工部に出願許可を得たるが近々內地より適當なる技師工夫を聘し六月初旬より發掘を開始すべしと

●漁區實査と願書 免許漁業の出願に對し當局は過日來夫れ〳〵技術官を實地に派遣し調査せしめ居れるが實查員出發後農商工部に接受したる願書に就ては水產局にて整理し各實查員に向け書類を發送し實查を急ぎつゝありと云ふ

●平壤理事廳書記官の[illegible] 內部書記官平渡信[illegible]

●學務主事へ訓示 今回任命されたる學務主事（漢城府平北、咸南、江原）四名に對し俵學部次官は一昨日私立學校の取扱方及執務上の方針等に就き訓示を與へたるが同主事は兩三日中夫れ〳〵赴任すべきに就き次官は昨二十一日午後六時一同を京城ホテルに招待し晩餐會を開く

●公州の本邦人增加 公州に於ける邦人數は頗る多く其內職工土方の類多數を占め居れるが彼等は正規の手續をなさゞる爲め今俄に其增加の數を知る能はざるも要するに近來二百余を增加したる模樣なりと而して邦人の企業は小規模にして特に見るべき者なしと雖も着實なる農事經營者は漸次出現するに至れりと

●高商問題と韓學生 高等商業學校紛擾問題に關し在學中の韓國留學生は何れも官費生なるを以て同盟休校に加はらざりしも協議の結果一般學生と共に退學する事に決したるが之に對し學部にては該學生の進退に關し目下協議中なりと

●高商と韓國留學生 韓國留學生にして東京高等商業學校在學生は本科二名豫科二名長崎高等商業學校本科一名神戶高等商業學校本科一名豫科一名計七名なりと

●白銅貨公納使用期 舊白銅貨の公納使用期間を本年十二月末日迄延期する件は五月廿日付勅令第五十八號を以て廿一日の官報にて公布されたり

●三稅免除委員會 大邱三稅免除委員會にては十九日請願書脫稿したるを以て同役民兩役所に委員會合し請願書提出の件に關し凝議するところありたる由

●各裁判所の建築 本年度に於て建築すべき各裁判所は大邱控訴院同じく地方裁判所區裁判所は不日入札に附すべく公州、海州、咸興の各地方區裁判所は本年中に建築の筈にて晉州、光州の地方及區裁判所は單に修繕に止め殘りの各區裁判所は土地の狀況により當年より來年に掛けて全部開廳するに至る由なるが重もに古家を使用し新たに着手する分は數ケ所に過ぎずと

●韓皇室の養蠶近況 韓皇室にては勸業の意を以て秘園內脊香閣を蠶室に宛て養蠶を爲すべき事は既報の如くなるが今其の近況を聞くに本月二日より四日に亘り岩田農商工部技師及同夫人主として掃立を爲したるが其蟻量は一匁四分にして門倉初子大韓婦人會養蠶講習所卒業生金榮載の兩婦人宿直として之が任に從事せるが皇后には每日女官三名を隨へて同場に臨み親しく桑葉を手にせらるゝ由

●命令航路の變更 從來釜山汽船株式會社の補助命令航路は釜山を起點として馬山、統營、三千浦、麗水等を經て木浦に至る地廻航路及釜山より巨文島を經て濟州島に至る沖廻航路は每月各二回なりしが去る五日より釜山、木浦間に每月三回以上、釜山濟州島間は同一回以上航海すべく命令したりと而して釜山木浦間は馬山、統營、三千浦、左營、羅老島、莞島、所安島及碧波津に釜山濟州島間は長承浦、欲知島安島巨文島及手島に釜山迎日灣間は蔚山（從前の通り）を往復とも寄港すべしと云ふ

●驛屯土引繼 驛屯土の實地引渡に着手すべきは黃海、慶尙、全羅の各道に於ける田畑合計三萬一千四百町步にして引繼反別の約四分の一に當るものなるが這は土地所在地の財務監督局と東拓側との間に直接に受授を了する方針にて東拓會社の調査役諸氏は來る二十四日夫々目的地に向け出發する由なりと電通は報す

●東拓會社と漁業 東洋拓殖會社にては漁業の經營を爲すべく先日來農商工部水產局と交涉中なることは既報の如くなるが昨廿一日林東拓理事は水產局に到りて庵原漁政課長と協議を爲したる由にて或る二三方面に漁場の出願を爲す筈なりと云ふ

漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺

二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘 但堅橫自由の事

三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月 京城新報社

●漁業出願者 道別 漁業法實施以來本月廿日迄に農商工部水產局に接受したる免許漁業出願件數は合計七百三十二件にして今其區別を記すれば咸鏡南道八十七件同北道二十一件黃海道六十四件慶尙北道十六件同南道二百八十件全羅南道百〇八件同北道八件忠淸南道二十五件京畿道五十四件平安南道四件同北道十一件也

●教科書檢定取消 學部大臣は幼年必讀同釋義及中等教科書東國史略は安寧秩序を妨害し又は風俗壞亂の虞ありとて該出版物を教科書として使用する事を禁止したりと

●吉祥里金鑛の不良 咸北道鏡城郡芳洞面吉祥里金鑛は英人ホローエ氏の經營に係るものなるが採掘以來成績不良にして現今坑夫も漸次減少しつゝありと

●釜山漁港工事狀況 釜山港漁港工事は基礎工事を終りて久しく其儘となし居りしが昨今製氷器械取付け工事に着手したるにつき其第一着として貯水器の据付基礎工事に取り掛り大に工を急ぎつゝありと

●國有牙山荒蕪地 牙山郡內に國有荒蕪地實測七千餘町步ある由にて日本人二名は是が開墾の請願手續を了せりと

●宮館署長の歸任 仁川警察署長宮館警[illegible]

●天氣豫報（廿二日午後六時）[illegible]

●忠南溫泉里溫泉 忠淸南道溫泉里の溫泉は近來の發展に伴ひ個人營業の旅館を會社組織に改さんとして目下計畫中なりと

●釜山昨今の精米高 釜山市內に於ける發動機使用の重なる精米所は左の八個所にして一晝夜の精米高總計は一千三百八十石なりと內譯は

釜山精米所二百三十石、大池第一精米所二百石、大池第二精米所四百石、那須精米所百五十石、上田精米所百八十石、磯谷精米所七十石、土肥精米所五十石、日韓精米所百石

●度支部次官招宴 度支部次官代理鈴木穆氏は目下入京中なる農工銀行支配人及各銀行の重なる者を招き昨二十一日午後六時より京城ホテルに晩餐會を催ふせし由

●大邱の學校增築 大邱民團より統監府へ認可申請中なりし小學校增築の件は十八日認可の指令に接したる由なれば不日請負入札に附すべしと

●忠南藍浦の漁業 忠淸南道藍浦は目下漁季に際し居るを以て昨今日韓人の出漁者非常なりと

●中央農會の發展 同會にては今回韓國畜產の改良を計る目的にて種牛（シンメンタール種）九頭を購入し三頭を水原支會へ二頭を鎭南浦支會へ又平壤、義州の兩支會にも各二頭を配布したるが今後も多數の種牛を買入れ各地へ配置する筈なりと種牛一頭の價額は三百五十圓より五百圓迄也と

●獨逸艦船の出港 仁川碇泊中の獨逸艦船マリアクマース號は昨日午前釜山に向つて仁川を出帆したり

●出入船舶と乘降者 仁川港一昨日の入港船は群山丸、潮州丸、雲海丸、隅田川丸、漢城號の五隻出港船は信濃川丸、矢崎丸、潮州丸、隅田川丸の四隻にして其の上陸者は男八十二女十九乘船者は男五十三女十三而して當日の在港船は揚武丸、光濟號、士洋丸、東照丸、漢城號、櫻井丸、錦江丸、成歡丸、海利丸、住の江丸、京城號の外日本帆船十三隻なり

●光濟號の淸津行 仁川碇泊中の光濟號は本日仁川を拔錨し淸津に向ふ筈なり

●民團長の敍勳 韓皇室より十七日付を以て在韓居留民團長に對し左の如く敍勳ありたり

京城居留民團民長 熊谷賴太郎
仁川居留民團民長 富田耕司
特敍勳四等賜大極章
平壤居留民團民長 大庭貫一
大邱居留民團民長 渡邊村男
釜山居留民團民長 石原半右衛門
馬山居留民團民長 前田榮一
特敍勳四等賜八卦章
開城居留民團總代 長野普
特敍勳六等賜大極章
義州日本人會長 村上長太郎
特敍勳六等賜八卦章

●本日の集會

▲南山本願寺 本日は土曜につき例に依り午後八時より說敎あり

▲歡笑會 大和町三丁目圓山太嶺方に設け[illegible]

▲京城基督教青年會 [illegible]會にては午後三時[illegible]は午後八時より春季總會を開き下の事項に就き決議する由「選擧」「報告」「會則改正」「役員改選」「運動會開催の件」

公人私人

▲福羽子爵（宮內府內苑局長）[illegible]に依り來京中の處二十[illegible]日歸國

▲松本强之助（[illegible]）[illegible]

▲田原利（[illegible]保險[illegible]）[illegible]に投宿中の處[illegible]

▲玉置琢（光州地方裁判所判事）天眞樓

▲北村五七郎（光州地方裁判所檢事）同上

▲古垣宗次郎（光州監獄典獄）同天眞樓

▲內藤潔（瓦斯會社技師）同浦尾

▲安武千代吉（辯護士）同浦尾

近事片々

▲統監 更任に就ては[illegible]

▲而も 伊公は辭任す[illegible]

▲如斯 んば統監を置く[illegible]

▲責任 を負はして自由[illegible]的制度は立憲國には[illegible]

▲保護 政體空虛にし[illegible]は事績を擧るの道也唯[illegible]

▲勿論 完用君と晩合[illegible]

▲慶相 趙重應君大韓[illegible]面の雲行觀測に餘念な[illegible]て門前掃を喰ひたりと[illegible]

▲金嘉 鎭老の氣焔近[illegible]く此老銳意氣揚れるか[illegible]

▲李容 九君今回は實[illegible]るが何物の好土產を持[illegible]

▲宋氏 は今何事をな[illegible]筋書は君の思惑に外れ[illegible]

▲事志 と違ひ越裡に[illegible]

▲漢城 政客共を賑はして[illegible]

▲淸國 政府殖民政策[illegible]岸に北海道とに吏員を[illegible]

▲北滿 經營は淸國政[illegible]となれり我南滿經營は[illegible]

▲韓太 子には八月盛[illegible]道を巡覽する由伊藤太[illegible]

▲伊公 の韓太子に對[illegible]くせり公は先天的に宮[illegible]

▲回顧 すれば明治十[illegible]は總理大臣にして宮內[illegible]

▲今や 韓國の太子太[illegible]韓國宮庭の尊嚴を保つ[illegible]

▲露帝 はノーワヤ[illegible]リン氏を引見せり而も[illegible]

▲當日 謁見者の中に[illegible]

▲露國 の如き官憲万[illegible]り東洋の官憲たるもの[illegible]

▲新聞 記者は入爵以外とな[illegible]新聞記者は入爵外[illegible]殊遇を受く新聞記者亦[illegible]

[illegible]本年の夏期休學期を利用し[illegible]隨從[illegible]名の學校、工場、名勝[illegible]巡覽の途に上らせらるゝ由なるが[illegible]岸線にて各所を巡覽の上靑森に出で室蘭[illegible]牧停車場に下車し[illegible]の御料牧場に立寄られ[illegible]後苫小牧停車場に還り再び汽車に依り[illegible]より札幌[illegible]巡覽あらせられ[illegible]函館に[illegible]に取りて西海岸各所を巡覽し歸京の豫定なるが往復約一ヶ月を要すべしと云ふ

[illegible]氏(三十)は澤田地方局長[illegible]釜山理事官[illegible]の令嬢[illegible]と婚約[illegible]三日華燭の典を擧ぐべしと

[illegible]視は過日來二の宮警部及水野[illegible]管內巡視中なりしが昨夜歸任[illegible]

●天氣豫報(自廿一日至廿二日)　南西の風晴

●新町見物(二)　椋助
附り、賃業婆を講せよ

第一俺の腑に落ちぬのは殖民地の人間の需要を充たすのに代物を本國から輸入すると云ふことだ、なんて六つかしいことは止しにしてダガ、誰れが考へても新らしい土地へ來て居る人はすべて其土地で出來た物を食ひ其土地で出來た金を使つて殘つたら本國へ送ればよいのだ、總べてが其通りで女が欲しくば**朝鮮の女を買**へばよいのだ、安くて珍らしくて結構だ、態々日本から輸入して是れに高い金を拂つて樂むテそんな贅澤なことがあるものか、ベラボー奴、遊廓が商賣に爲たけりや朝鮮の小奇麗な女を引張つて來て是れを**日本風**にして日本人に賣り附けりやよいのだ、ナニ朝鮮人には梅毒が多いテ馬鹿吐け昔しは多ふかつたかも知れんが今では日本人の方がズット多いのだ、此間擧がつた淫賣でも十九人の中で十二人までは第二期とやらの梅毒に罹つて居るじやないか、それに韓妓の檢梅の時には百人の中で一人か二人しかないじやないか、それに遊廓となれば制規の檢梅をやるから大丈夫だ金看板付じや、俺れの意見は此通りじやが是れが通らぬとして見りや、現在の儘でも宜しいが大に改良を加ふべしじや、第一玉代が高い今の値段は昔の儘だ統監府が出來る以前と出來た以後とでは京城の經濟狀態こそ云ふ事が大變違ふ、うらじやないか、其れに遊廓ばかり相場の居据りとは時世を知らぬと云ふものだ、其れにすだく大變なことには此四月からは官吏の增俸が**五割も減**つたじやないか、第一のれ得意たる役人さんの給料が減つたのだから玉の相場でも下げにや不景氣になるのは當前だよ、取り過ぎるも方圖があるじやないか、大体女の身代金はドウダ三年三百圓以上の者は指を折つて數へる位だ、假りに一人一年が百圓としたら月に割れば十圓に足らぬ二枚の玉代が何時迄も元は取れるコンナ甘いことが何時迄も續いて溜まるものか、ヤイ値を下げ〳〵其代り烟草を取らせ、女郎がグヅ〳〵言や待遇法はいくらもある、一人でも客を餘計に取れば幾何かの小使をやればよい、金儲けならドンナ勉强でも仕樣じやないか、そして**等級**を定めにして學の物を出せ一等が五圓で、二等が三圓五十錢か四圓位で三等が二圓位で宜ろしい、そうなりや淫賣買ふよりや結構だ色餓鬼共は幾人でも集まつて來て新町の遊廓は今の倍になつても足らん樣になるわ、嘘と思や行つて來い方法は教へてやる、テンダ椋助相手は居ないかや ないかと杢兵衛が腹を抱へて笑ふよ……(完)

●手形組合理事自殺
▲原因は腦病から　▲短銃一發で即死

漢城手形組合理事度支部主事藤井定吉氏が一昨日自宅に於て自殺したる事は本社は其當時直に耳にしたるも若し職務上の不都合より出でし者とせば韓人側經濟界に恐慌を來す虞あれば掲載を見合せよと其筋の注意に依り一時之を見合し置きしも精探の結果右樣の事實を發見せざれば最早遠慮するの必要なく左に其模樣を摘記せん

▲本人の經歷　原籍は鹿兒島縣川邊郡枕崎村平民藤井定吉(二十九)とて高等商業學校卒業後渡韓して**度支部主事**に任命され漢城手形組合理事たり性質は磊落なれども至つて短氣なる方なりしと

▲自殺前の模樣　自宅は南山町二丁目八十番戶本人は未だ獨身暮しにて下婢松島チヨ(三十)を使用し居たるが今自殺前の模樣に付きチヨの語る處に依れば自殺の前夜即ち十九日の夜突然チヨを呼び給金の殘りは幾何なりやと尋ねしかば五圓五十錢なりと答へしに財布より八圓を出して其全部を與へしが暫くして何方よりか電話掛りたれば俄かに外出するとて支度を爲し曩に與へたる八圓を貸し呉れとてチヨより受取り若し**我が死**んだら此金時計をやる凡そ百五六十圓の價あれば此內より給金を引去れとて笑ひながら出で行き午後十二時頃に歸宅し其夜は異狀なく寢に就き翌朝に至り缺勤するとて引籠り午前十時醫者に行くとて外出し十一時頃歸宅したりと

▲一發の銃聲　然るに同日零時二十分頃友人永井軍知なる人來りしかば玄關に出迎へ挨拶する中に定吉が居室にて一發の銃聲爲しければ驚きて駈け付け見ればコハ如何に定吉は短銃にて眉間を打ち貫き**即死**を遂げ居たれば大に驚き此旨早速南部署に屆出でたり

▲自殺の模樣　已れが居間に座蒲團二枚を敷き其上に安座し五連發短銃を以て**眉間を擊**ち頭部を北に脚部を南にして仰臥し左手を胸部に置き何等苦悶の狀なく彈丸は腦中に盲貫して即死を遂げ居れるが遺書としては一通もなく机上には自己の寫眞の裡面に明治四十二年五月廿日**自殺**と明記し居り又時日を九日と記して之を削り二十日と直し居たるは既に前日自殺を圖る積りなりしならんか

▲自殺の原因に就ては種々風說あるも職務上に關する失態は毫もなきものゝ如く只三四ヶ月以前腦病に罹り居たれば**精神錯亂**の結果ならんとも云ひ或ひは**失戀**の結果なりとも云へるが茲には其傳ふるが儘を記し置くのみ

●出獄迎に二人の亭主
▲太平町吉田屋の女將

太平町に吉田屋と云ふ賣淫屋兼務の飲食店あり主人のれ何は內地に定まつた夫のあるにも拘はらず日露戰役前に渡韓して新町遊廓大黑樓(山遊樓の前)の主人の妾となり居たりしが同主人の自殺後田舍方面を徘徊中某受負師と乳繰り合ひ二人手を取り當地に逆戾り目下の處に飲食店を開業し居れるがれ何は去月淫賣媒合罪にて拘留處分に附せられしが其不在中內地に逐去られし本夫の某が突然訪ね來て斯くと聞き留守萬端を受持ちされ何が出獄の朝南部署迄出迎ひに行きしが情夫の受負師も又早朝より出迎ひに行き茲にれ何は二人の亭主に迎へられて吾家へ歸りは歸りしものゝさて困つたは二人の夫の處分是れが玉藻前の六なら一人は斬つて捨つる處なれど孤の化身じやあるまいしそう甘くは出來ぬのみか本夫の某は烈火の如く憤り情夫の某も中々執着て離れようとせず毎日〳〵三人面を突合はし紛紜最中と近所の噂を聞が儘を

●橫着な宿屋

仁川濱町一丁目白石旅館に去月十三日より投宿せる神戶市脇濱町二丁目水產業井上鶴雄及び妻坂見せつ(三十)とは日本にて事業に失敗し韓國にて一旗揚げんものと夫婦諸共に渡韓し前記白石旅館に投宿し職業を搜し居たる所思はしき口のなきのみならず宿泊料が二十七圓餘負債となりたれば同旅館の主婦は何日までも遊んで居ては泰山も空しなどと云ふてとあれば(れ)せつさん一つ酌婦になつては如何と勸められされどせつは目下妊み居れば其儀ばかりはと斷りたれど斷はり兼ぬるは金の始末なれば終に人の世話にて夫鶴雄は宮川組の帳場に住み込むこととなり十五圓の金を得之れを白石に渡し柳行李及び蒲團を取戾さんとせしに白石は無法にも全金を納むるにあらでは渡し難しと該品を渡さゞるより鶴雄は一昨日仁川署に此旨願ひ出でたれば警官は双方召喚の上白石が無斷にて客の荷物を取押へたるは不心得なりと說諭し殘金は月賦五圓にて返濟することにして蒲團及び柳行李を渡さしむる筈にて事濟

●忠州の賊狀

忠淸北道に於ける安東、順興、丹陽、淸風、聞慶、永春各郡の賊徒總大將は奎爾翰なり部下六七百名と稱し內銃器携帶者五百名李明相金相泰を召集し大將李春三を左翼大將元根燮を右翼大將とし金聖天を都領長となし元根燮に二百名李錫三に二十名閔泳八に三十名を分與し餘は大將の許に置き金は李明相金相泰を從へ順興郡小泉に陰曆二月二十日頃迄本陣を設け部下をして五日十日位に各所に出沒せしめしが去る三月頃より其全部の行動を始めたるが如し即ち三月十五日丹陽分遣所員と聞慶郡東魯面にて衝突の約五十名の賊徒は四月九日忠州郡德山面閔泳八の率ゆる二十三名顯はれ淸風分遣所員の追跡を受け二十四日捕虜の言に據り右の事實明瞭となれり

●九州實業の美擧

熊本縣は熊本市練兵町にて發行せらるゝ九州實業新聞社にては韓國に駐屯せる第六師團管下將士諸君の勞を慰めんとて慰問團を組織せるが何分にも諸種の事情ありて行を倶にし得ざる父兄親戚の爲めには慰問袋の無代遞送をなし猶ほ守備將士に對し傳言せんことを希望せらるゝ人の爲めには其の傳言の依賴にも應ずる由なり目に親しく故園の人を視耳に故鄕の言を聽き更に知己親戚が心盡しの慰問袋を贈らるゝことなれば同師團將士の其の際の歡喜今よりして想像するに難からず同社這般の企圖の如きは最も趣味ある美擧なり

●統監に石燈籠

まさか祭り込まれたとの諷刺ではあるまいが東京府下荏原郡十九ヶ村の有志者相謀り伊藤統監に石燈籠を寄贈し之を大森なる恩賜館の門前に建設する筈なるが此の石燈籠は高さ一丈二尺五寸にて同村產出の寒水石高さ八尺五寸の上に與餘五尺の燈籠を載せたるものにて價格二千圓餘去る十五日委員會を開き愈々東京美術學校に依賴することゝなりたりと

●阿片で自殺

仁川平洞宋萬奉方鄭雲先(四十)と云ふは一昨日午前二時頃阿片を呑んで自殺を遂げたるが原因は家政不如意の結果らしく仁川署にては檢死の上屍体を家族に引渡したり

●小兒の行衛不明

仁川桃山町田中喜吉の妻みきは一昨日午前九時頃二男善助と云ふが家出して行衛不明となりたるより大に驚き狂氣の如くなつて花町派出所に訴へ出で目下搜索中なり

●醫師の檢梅料

京城理事廳囑託醫久尾澤氏は自今健康診斷及び檢梅料を一人前五十錢と定めたる由なり

●[illegible]の替り

田宮一行本日の替りは「檢事の陰謀辯護」(苦心)にて演ずる配役左の如し

檢事尾崎勇(松村)村田三郎爵は向陽長五郎(吉井)村田子分金太(大山)青山妹初子(藤原)壯士楠木(東鄕)刑事川上豐(篠田)下男幸助(阿部)仲居たまく(池田)看守長(高山)青山健一(中村)青山妻雪子(堀江)辯護士浦田清梧(田宮)

平民文庫

擅造中傷無用のこと　小便も亦御斷り申候

▲此の頃非常に賣春婦連が鉄玉に上げられるが實に好い氣持で溜飲が一度に降つてこんな嬉しい事はない然らば今後もドシ〳〵行つて欲しい(一女房)▲其內〳〵の干支を是非記載されんことを希望します(陰陽師)▲當地本町某印刷所の○○部に出る○○君近所のあの子にあまり逆上ると爲めにならぬよ改心し給へ改心しなくばスッパ拔くぞ君は以前には井門のオット今云ふ時に非ず又後にゆる〳〵(探險隊長)▲理髮店の職人が客の髭を剃る時に頭をグッと仰向に押へ付けて其の臭い呼吸をブッ〳〵と吐き掛けるには閉口だ警察令を以てレースペレートを掛けさして貰へば結構だがソンナに御大層な事をせずとも是れ位の事は各理髮店に於て注意したら何うです(潔癖生)▲能く見掛けることだが街路に水道を利用して水を撒いて呉れるのは結構至極だが水を遠方に飛ばして通行人の迷惑を省みないのは不都合だ注意して貰い度い(通行人)▲淫賣婦の拘引は大いに愉快だ又私共に取つては大に幸です(大工の女房)▲平民文庫欄への投書家の茶話會を開催したらどうです會場は當社の一隅でもよし會費は二十錢位で、小僧君是非骨折りを賴みます(千里眼生)▲上位の方達が何んと云はれますか知りませぬが分相應の骨折りを致して見ます(小僧)▲長谷川町太平町一帶は彼の事以來大變寂しくなりました(への字)▲失笑子よ八重咲が二階建て增しに古障子を用ゐたのが何が可笑しいのだ韓國には澤山例のあることだ、夫れよりも此の不景氣の折に其樣詰らぬ事を詮索する君のような閑人があるかと思ふと實に……(苦笑子)▲隨分世の中には譯の判らぬ理窟を云ふ人がある時に依ると打撲つて呉れ樣と思ふことさへあるが商人の悲しさ商賣に負けて默つて居ることも少なくないです(小商人)

廣告

公告

一地理實習用掛地圖　一軸
一最新世界萬國新地圖　一枚
一擊劍道具　一
右ハ當民團立第二尋常高等小學校長ヲ經テ巨智部鎭ヨリ學校へ寄附
一火鉢　七
右ハ大和町二丁目十九番戶富田虎吉ヨリ當民團立京城中學校開校式ニ寄附
一茶碗　五十個
右ハ本町二丁目前田熊市ヨリ當民團立京城中學校へ寄附
右公告ス
明治四十二年五月廿一日
京城居留民團民長　熊谷賴太郎

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途 ●鐵道、病院等 鑛山、水道 工場用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度 年二十五歲身体強健多年農業に經驗あり農場經營者へ雇はれたし市内に確實保證人あり 姓名在社(二五九)

●被雇度 年二十六歲身体壯健にして勞役に堪ゆ精米所又は雜貨屋に雇はれたし市内に確實保證人あり 姓名在社(二六一)

●被雇度 多年寫眞術に從事尤も技術を善くす給料多きを不望至急被雇たし 氏名在社(二六二)

物件部

●賣却 古窯器附屬品共安價にて賣渡したし 氏名在社(二五三)

ヴァイオリン諸習樂器を備へ懇切に教授す 毎週月水金午前十時より 水樂町三番 樂諸習會(二五六)

中古英國製コースター付自轉車至急讓受けたし 姓名在社(二五七)

醬油釀造場 釀造道具一切付格安にて貸たし 社內福崎

●賣貸家 大和町元軍司令部通庭內三百坪西洋二階建廿七坪平家廿四坪電燈電話附會社病院向格安賣又貸渡し 氏名在社(二六三)

廣告

新茶賣出し
御卸 小賣
茶
京城本町五丁目
富士の里茶舖
電話九九七番

熱心單志多年爲斯道雖於微奧旨恍然似有得者匪堅推臆斷啟啟茫洋辭意澗勝素面輕號也
易斷 觀相 數授
京城本町五丁目
三一館
通信判斷一件一圓 特別二圓

京城曙町 (電話二八七番)
統監府御用 宮內府御用
軸物表裝 金銀紙 額面 襖 屛風 壁張
石川表具店

東洋總代理店
實用 石鹸
アイボリー
藤原京城支店
電話 八九四 ○壹番

辯護士 岡田榮
熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セズ)
京城旭町一丁目六十七番戶
(電話三九八番)

夏物澤山新荷着に付大勉強販賣仕候
歐米雜貨並諸官衙御用達
京城本町二丁目
四ヶ所商店
電話三二一番

東京瓦斯株式會社製劑
消毒 防臭用 クレシン 一磅入 金廿五錢
但百磅以上は特に割引可仕候

移轉廣告
今般都合に依り京城南大門外古市町に移轉仕候に付此段廣告仕候也
明治四十二年五月十八日
土木建築 請負業 並材木商
堀內京城支店
堀內茂吉 (電話一六九番)
追て弊店儀堀內組と同姓の爲め郵書其他往々間違相生じ候に付當方は商號を堀內京城支店と稱し候間此段爲念廣告仕候也

●夏物新荷着●
●新流行御爲向必適品
色合ひ新鮮御希望の品
御買求めは一日も早き方御得策なり
御引立願上候
太物 洋反 蚊帳 蒲團
●夏物新荷着●
(あ) 秋山商店
御なじみの郵便局前
電話九百五番
倍して御愛顧

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達
委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
本社 京城南大門通二丁目 電話二三〇番
出張所 京城京城鐘路 電話三九六二番

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗
G.D 印トルコ金口煙草(百本入 十本入)
外各種 自本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付益々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並價格表御申越次第御送附可申上候
直輸入元 仁川本町一丁目
トルコ煙草商會
電話七五番

サッポロビール
ヱビスビール
アサヒビール

開業御披露
貸席 待合
南山の風景を眼前に眺め浴場の設備あり
南山町一丁目坂上
入船

元祖 消毒 殺菌
京城大和町壹丁目
牛乳 ○山牧場
電話一二三三

東京高等 改良
貸席
開業
喜代家
大和町一丁目(京城日報前)

桶類 製造大安賣
明治町一丁目横町通
矢野商店

米 東京火災(海上運送)保險株式會社
明治廿年七月創立●京城代辨店 本町四 山口吳服店
電話九
資本金一千萬圓●事務所 京城本町二〇電話 一〇六〇番

特約販賣 自製
(大) (命) (鳳)
漬物 味噌 醬油 製造元
利洋酒、(回)精酢、穀物麴類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)

馬車配達
●●●衛生と消毒●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場 電話〇六九番
●●●滋養と牛乳●●●

九州セメント 上等生石灰販賣
京城南山町二丁目 電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番
中村運送店

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切さを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶横小路 (元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

東京流 待合 貸席
電話 一〇二五番

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉館跡 (茂呂運送店前)
五月 開通
戶田病院
電話九三八番

陸軍衛戍病院 大韓醫院 特定御用
消毒 殺菌 純良
牛乳 ○○牧場
電話一〇五六番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話三九番 電話十番

釜山長崎門司神戶行 山東丸 六月六日午後三時出
天津、太沽、牛莊行 高砂丸 五月二十七日正午時出
大連、大沽、牛莊行 山東丸 五月二十五日前五時出
大連、大沽、牛莊行 酒田丸 六月十七日正午出
釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 五月二十六日午後
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金四十錢 ▲三ヶ月前金 ▲郵税一ヶ月
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城新報社
京城西署西小門通 電話六六三番